

## 医学用語あれこれ 8



浜口 恵子

接頭辞が続き、少々嫌気がさしてくる頃ですが、まとめて覚えた方が後で整理するときに便利です。よく使われるものはあと半分ばかりを残すだけです。もう少し頑張りましょう。この接頭辞さえクリアすればワンステップ進んだような気分になれることうけあいです。

- inter : ~の間の
- pro : 前方、以前
- pre : 前、前の、以前の
- ante : 前の、以前の
- post : 後の、以後の

inter は、前回 intra がでた時に、一緒に例をあげて関連づけて見ておいた方がよかったのかもしれませんが、抜けてしまいましたので今回あげておきます。

chondr/o は軟骨を表す連結形ですが、inter/chondr/al にすると軟骨間のという意味になります。dent/o は歯を表す連結形で、inter/dent/al は歯間のを意味します。fibr/o は線維を指す語ですが、inter/fibr/ous で線維間のとなります。大腿のを表す形容詞 femor/al からは inter/femor/al 大腿間のという語がつけられます。鎖骨のを指す形容詞 clavicul/ar からは inter/clavicul/ar 鎖骨間のという言葉ができます。inter/cost/al は肋骨間のです。

pro は空間的、時間的な前、前方を表します。gnos/is はギリシア語で知ること、知識を表す言葉ですが、pro/gnos/is とすると前もって知ること、予知、予後という意味になります。drom/o は走るに当たるギリシア語からきている連結形ですが、pro/drom/e にすると病気の前を走ること、接近しつつある病気を示す症候、すなわち前徴を指します。pro/cephal/ic は前頭の、pro/ot/ic は

前耳のとなります。

pre も空間的、時間的な前、前方を意味しますが、これはラテン語由来の語根につきます。nat/al は出産の、分娩のという形容詞ですが、pre/nat/al にすると出生前のとなります。骨髄を表す連結形 myel/o からは pre/myel/o/cyt/e 前骨髄球という語ができます。pre/cancer は前癌、前癌状態です。palat/o は口蓋を表す連結形ですが、pre/palat/al にすると口蓋前部のという語になります。tympan/o は鼓室、中耳を意味する連結形ですが、pre/tympan/ic とすると鼓膜前の、鼓膜前方のになります。膝蓋骨のという形容詞 patell/ar からは pre/patell/ar 膝蓋骨前の、膝蓋骨前方のという語がつけられます。pre/cardi/ac は心臓前方の、前胸部ののです。

ante は pre とほとんど同じ使い方をしますが、pre ほど多くは使われません。cubit/al は肘のという意味の連結形ですが、ante/cubit/al にすると肘前のになります。腕を表す連結形 brachi/o からは ante/brachi/al 前腕のという語がつけられます。ante/nat/al は出産前のです。

post は時間的、空間的な後、後方を指し、ラテン語根につきます。sacr/o は仙骨を表す語ですが、post/sacr/al にすると仙骨後の、仙骨後方のという言葉ができます。nas/o は鼻に関する連結形で、post/nas/al は鼻後方の、後鼻腔のを表します。口に関する連結形 or/o からは post/or/al 口後のという語がつけられます。orbit/al は眼窩のという形容詞ですが、post/orbit/al で眼窩後方のという意味になります。post/cost/al は肋骨後方の、post/uterine は子宮後方のです。vaccin/al は種痘の、ワクチンのという形容詞ですが、post/vaccin/al で種痘後の、ワクチン後のという意味になります。post/nat/al は生後のです。

では今回はこの辺で。